

朗読部門（2021年4月～中国語学習開始）

《香港》（103字）

Xiānggǎng wèiyú zǔguó màncháng hǎi'ànxiàn de nánduān,
香港 位于 祖国 漫长 海岸线 的 南端，

tā miànjī bú dà , què shì yàtài dìqū de hángyùn zhōngxīn、màoyì zhōngxīn hé
她 面积 不大，却 是 亚太 地区 的 航运 中心、 贸易 中心 和

jīnróng zhōngxīn , háishì gòuwù、měishí hé lǚyóu de hǎo qùchù.
金融 中心， 还是 购物、 美食 和 旅游 的 好 去处。

Xiānggǎng shì yí ge zhù míng de gǎngkǒu,
香港 是 一个 著名 的 港口，

shìjiè gèdì de shāng rén dōu lèyì lái zhèlǐ zuò shēngyì.
世界 各地 的 商人 都 乐意 来 这里 做 生意。

Yīncǐ Xiānggǎng shìchǎng shì yí ge “wànguó shìchǎng” .
因此， 香港 市场 是 一个 “ 万国 市场”。

《香港》

香港は我が国の長い海岸線の南端に位置し、面積は小さいですが、アジア太平洋地域の水上運輸、貿易、金融の中心で、依然としてショッピング、グルメ、旅行にうってつけの場所です。

香港は有名な港で、世界各国のビジネスマンは喜んでここに商売にやって来ます。そのため、香港市場は「世界のマーケット」なのです。

暗唱部門（中国語学習歴2年半未満、以下3篇より1篇を選択）

《我要的是葫芦》（247字）

Cóngqián, yǒu ge rén zhòngle yì kē húlu.

从前，有个人种了一棵葫芦。

Xìcháng de húluténg shang zhǎngmǎnle lǜyè, kāichūle jǐ duǒ xuěbái de xiǎo huā.

细长的葫芦藤上长满了绿叶，开出了几朵雪白的小花。

Huā xiè yǐhòu, téng shang guàle jǐ ge xiǎo húlu.

花谢以后，藤上挂了几个小葫芦。

Duōme kě'ài de xiǎo húlu wa ! Nàge rén měi tiān dōu yào qù kàn jǐ cì.

多么可爱的小葫芦哇！那个人每天都要去看几次。

Yǒu yì tiān, tā kànjiàn yèzi shang pázhe yìxiē yáchóng,

有一天，他看见叶子上爬着一些蚜虫，

xīnli xiǎng, yǒu jǐ ge chóngzi pà shénme ! Tā dīngzhe xiǎo húlu zì yán zì yǔ de shuō:

心里想，有几个虫子怕什么！他盯着小葫芦自言自语地说：

“Wǒ de xiǎo húlu, kuài zhǎng a, kuài zhǎng a !

“我的小葫芦，快长啊，快长啊！”

Zhǎngde sàiguō dà nánghuā cái hǎo ne !”

长得赛过大南瓜才好呢！”

Yí ge línjū kànjiàn le, duì tā shuō: “Nǐ bié guāng dīngzhe húlu le,

一个邻居看见了，对他说：“你别光盯着葫芦了，

yèzi shang shēngle yáchóng, kuài zhì yì zhì ba !”

叶子上生了蚜虫，快治一治吧！”

Nàge rén gǎndào hěn qíguài , tā shuō:

那个人感到很奇怪，他说：

“Shénme? Yèzi shang de chóng hái yòng zhì? Wǒ yào de shì húlu.”

“什么？叶子上的虫还用治？我要的是葫芦。”

Méi guò jǐ tiān, yèzi shang de yá chóng gèng duō le.

没 过 几 天，叶 子 上 的 蚜 虫 更 多 了。

Xiǎo húlu màn màn de biàn huáng le, yí ge yí ge dōu luò le.

小 葫 芦 慢 慢 地 变 黄 了，一 个 一 个 都 落 了。

《欲しいのはヒョウタン》

昔、ある人がヒョウタンを植えました。細長いヒョウタンのつるには緑の葉がびっしりと生え、真っ白い小さな花がいくつか咲きました。花が枯れたあと、つるには小さなヒョウタンがなりました。なんて可愛らしい小さなヒョウタンなんだ！その人は毎日何度も見に行きました。

ある日、その人は葉にアブラムシが何匹かはっているのをみかけましたが、数匹の虫なんて怖くはないさ！と心の中で思いました。小さなヒョウタンをじっと見つめて、「私の小さなヒョウタン、はやく大きくなれ、はやく大きくなれ！大きなカボチャと競えればいいのになあ」と独り言を言いました。

お隣さんがそれを見て、「ヒョウタンばかりを見ていてはダメだよ、葉にアブラムシがわいているから、さっさと退治しなさいよ！」と言いました。その人は不思議に思って、「え？葉の虫も退治しないといけないって？わたしが欲しいのはヒョウタンだよ」と言いました。

何日もしないうちに、葉のアブラムシは更に多くなりました。小さなヒョウタンはだいに黄色に変わり、一つまた一つと全部落ちてしまいました。

《咕咚》(327字)

Mùguā shú le. Yí ge mùguā cóng gāogāo de shù shang diào jìn hú li, “Gūdōng”!
木瓜熟了。一个木瓜从高高的树上掉进湖里，“咕咚”！

Tùzi xià le yí tiào, bātǔ jiù pǎo. Xiǎo hóuzi kàn jiàn le, wèn tā wèi shén me pǎo.
兔子吓了一跳，拔腿就跑。小猴子看见了，问他为什么跑。

Tùzi yìbiān pǎo yìbiān jiào: “Bù hǎo la, ‘Gūdōng’ kěpà jí le!”
兔子一边跑一边叫：“不好啦，‘咕咚’可怕极了！”

Xiǎo hóuzi yì tīng, jiù gēnzhe pǎo qilai. Tā yìbiān pǎo yìbiān dà jiào:
小猴子一听，就跟着跑起来。他一边跑一边大叫：

“Bù hǎo la, bù hǎo la, ‘Gūdōng’ lái le, dàjiā kuài pǎo wa!”
“不好啦，不好啦，‘咕咚’来了，大家快跑哇！”

Zhè yíxià kě rènao le. Húli ya, shānyáng a, xiǎolù wa, yí ge gēnzhe yí ge pǎo qilai.
这一下可热闹了。狐狸呀，山羊啊，小鹿哇，一个跟着一个跑起来。

Dàhuǒ yìbiān pǎo yìbiān jiào: “Kuài táo mìng a, ‘Gūdōng’ lái le!”
大伙一边跑一边叫：“快逃命啊，‘咕咚’来了！”

Dàxiàng kàn jiàn le, yě gēnzhe pǎo qilai. Yěniú lán zhù tā, wèn:
大象看见了，也跟着跑起来。野牛拦住他，问：

“‘Gūdōng’ zài nǎlǐ, nǐ kàn jiàn le?”
“‘咕咚’在哪里，你看见了？”

Dàxiàng shuō: “Méi kàn jiàn, dàhuǒ dōu shuō ‘Gūdōng’ lái le.”
大象说：“没看见，大伙都说‘咕咚’来了。”

Yěniú yòu wèn dàhuǒ, dàhuǒ yě dōu shuō méi kàn jiàn.
野牛又问大伙，大伙也都说没看见。

Zuìhòu wèn tùzi, tùzi shuō: “Shì wǒ tīng jiàn de, ‘Gūdōng’ jiù zài nàbiān de hú li.”

最后问兔子，兔子说：“是我听见的，‘咕咚’就在那边的湖里。”

Tùzi lǐngzhe dàjiā lái dào húbiān.

兔子 领着 大家 来到 湖边。

Zhènghǎo yòu yǒu yí ge mùguā cóng gāogāo de shù shàng diào jìn hú li, “Gūdōng”!

正好 又 有一个 木瓜 从 高高的 树上 掉进 湖里, “咕咚”!

Dàhuǒ nǐ kànkan wǒ, wǒ kànkan nǐ, dōu xiào le.

大伙 你 看看 我, 我 看看 你, 都 笑了。

《ドブン》

パパイヤが熟れました。パパイヤは高い高い木から落ちて、湖の中に「ドブン」！ウサギはびっくりして、さっと逃げました。それを見た子ザルは、どうして逃げるのと尋ねました。ウサギは走りながら、「ダメだよ！『ドブン』は本当に怖いんだから！」と叫びました。

子ザルはそれを聞くと、ウサギについて逃げ出しました。子ザルは走りながら、大声で「ダメだ！ダメだ！『ドブン』が来るよ、みんなはやく逃げて！」と叫びました。

しばらくの間、大騒ぎでした。狐に、ヤギに、子鹿が次々と逃げ出しました。みんな走りながら、「はやく逃げて！『ドブン』が来るよ！」と叫びました。

それを見たゾウも一緒に逃げ出しました。野牛はゾウをさえぎって、「『ドブン』はどこだ？見たのかい？」と尋ねました。象は、「見てないけど、みんな『ドブン』が来ると言っているよ」と言いました。

野牛はもう一度みんなに聞きましたが、誰も見ていないと言いました。最後にウサギに尋ねると、ウサギは、「私は聞いたよ、『ドブン』はあっちの湖の中にいる」と言いました。

ウサギはみんなを連れて湖畔に来ました。ちょうどまたパパイヤが一つ、高い高い木から湖の中に「ドブン」と落ちました。みんなは互いに顔を見合わせて、笑いました。

《一匹出色的马》(352字)

Yí ge chūntiān de bàngwǎn, māma qiānzhe mèimei, bàba qiānzhe wǒ,
一个春天的傍晚，妈妈牵着妹妹，爸爸牵着我，

yìqǐ dào jiāowài qù sàn bù. Wǒmen yánzhe yì tiáo xiǎo hé zǒu.
一起到郊外去散步。我们沿着一条小河走。

Héshuǐ bìlǜ bìlǜ de, wēifēng chuīguò, fànqǐ céngcéng bōwén.
河水碧绿碧绿的，微风 吹过，泛起层层 波纹。

Hé'àn shàng chuíxiàlai de liǔyè, fúguo māma hé bàba de tóufa,
河岸上垂下来的柳叶，拂过妈妈和爸爸的头发，

wǒ hé mèimei kànzhe dōu xiào le.
我和妹妹看着都笑了。

Lù de yìbiān shì tiányě, cōng cōng lǜ lǜ de, fēicháng kě'ài,
路的一边是田野，葱葱绿绿的，非常可爱，

xiàng yí piàn róuruǎn de lǜtǎn.
像一片柔软的绿毯。

Chūntiān de jiāowài, jǐngsè yìcháng měilì. Wǒmen yìbiān kàn, yìbiān zǒu,
春天的郊外，景色异常美丽。我们一边看，一边走，

lù yǐjīng zǒule bùshǎo, què hái liàn liàn bù shě, bù xiǎng huíqu.
路已经走了不少，却还恋恋不舍，不想回去。

Dāng wǒmen wǎng huí zǒu de shíhòu, mèimei qiú māma bào tā:
当我们往回走的时候，妹妹求妈妈抱她：

“Wǒ hěn lèi, zǒubudòng le, bàobao wǒ.”

“我很累，走不动了，抱抱我。”

Māma yáoyao tóu, huídá shuō: “Bù xíng a, wǒ yě hěn lèi, bàobudòng nǐ le.”

妈妈摇摇头，回答说：“不行啊，我也很累，抱不动你了。”

Mèimei zhuǎnguò tóu qiú bàba. Bàba bú zuòshēng, tā sōngkāi wǒ de shǒu,
妹妹 转过 头 求 爸爸。爸爸 不 作声， 他 松开 我的 手，

cóng lùpáng yì zhū liǔshù xià, shíqǐ yì gēn yòu cháng yòu xì de zhītiáo,
从 路旁 一 株 柳树下， 拾起 一 根 又 长 又 细 的 枝条，

bǎ tā dìgěile mèimei, shuō: “Zhè shì yì pǐ chūsè de mǎ, nǐ zǒubudòng le,
把 它 递给了 妹妹， 说： “这 是 一 匹 出色 的 马， 你 走 不 动了，

jiù qízhè tā huí jiā ba.”
就 骑 着 它 回 家 吧。”

Mèimei gāoxìng de kuàshàng “mǎ”, bèng bèng tiào tiào de bēnxiàng qián qù.
妹妹 高兴 地 跨上 “马”， 蹦蹦跳跳地 奔 向 前 去。

Děng wǒmen huídào jiā shí, tā yǐjīng zài ménkǒu yíngjiē wǒmen,
等 我们 回 到 家 时， 她 已经 在 门口 迎 接 我们，

xiàozhe shuō: “Wǒ zǎo huílai la !”
笑着 说： “我 早 回 来 啦！”

《素晴らしい馬》

ある春の夕方、お母さんは妹の、お父さんは私の手をつないで、一緒に郊外に散歩に行きました。私たちは小川に沿って歩きました。川の水は青々として、そよ風が吹いており、幾重にも波紋が立っていました。川岸の垂れ下がった柳の葉が、お母さんとお父さんの髪の毛をなでるので、私と妹はそれを見て笑いました。

道の一方は田畑で、青々としていて、非常に愛らしく、まるで柔らかい緑の絨毯でした。

春の郊外は、景色が特別に美しいのです。私たちは見ながら歩き、すでにかなり歩きましたが、名残惜しくて帰りたくありませんでした。

帰る時、妹は「疲れて、歩けないよ、抱っこして」とお母さんにせがみました。

お母さんは頭を振って、「だめよ、お母さんもしんどいから、抱っこできないよ」と答えました。

妹は振り返って、お父さんにせがみました。お父さんは静かに、私の手を放し、かたわらの柳の木から長くて細い枝を拾い上げて、妹に手渡し、「これは素晴らしい馬だよ。歩けなかったら、これに乗って帰りなさい」と言いました。

妹はよろこんでその「馬」にまたがって、飛び跳ねながら前に向かって行きました。私たちが家に帰ると、妹は入り口で出迎えてくれ、笑いながら「私はとっくに帰ってたよ！」と言いました。